

薬物乱用防止教室が行われました

9月22日、1年次を対象とした薬物乱用防止教室が行われました。防止教室は、茨城県警察本部少年課少年サポートセンターから大塚敦男さんを講師にお迎えして行われました。

前半の講話では身近にある薬物についてのお話から始まり、お酒やたばこ、市販薬、栄養ドリンクなども過度な摂取が薬物の乱用につながる危険性があることや、大麻、覚醒剤、MDMAなどの危険薬物の怖さや心や身体に与える影響について。また、危険薬物の誘われ方やその断り方など薬物全般についての話がありました。

後半は、『知っていますか。薬物の真実』という題名のDVDを視聴しました。内容は、薬物経験者の男性の独自の形で薬物の怖さについて語られました。

多くの生徒が、熱心にメモをとりながら講師の大塚さんのお話に耳を傾けていました。DVDの視聴においては、薬物経験者の実際の話聞き、薬物の恐ろしさ・怖さを実感できたようです。

薬物は、人間の心の悩みや弱さをついてやってきます。生徒の皆さんには、今回の薬物乱用防止教室を参考にして、決して薬物に手を出すことのないように、日頃から注意してもらいたいと思います。

